（明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可）（日刊）日曜日及祭日の翌日休刊　明治四十二年九月廿二日　（水曜日）　第二百二十號（一）

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●韓鐵經濟の前途（五）

（某當局者の談）

韓鐵既往十箇年間に於ける韓國鐵道の收入增加割合に據り今後九箇年間即ち五十年度に至る收入を豫想せんとせば勢ひ安奉線改築及鴨綠江架橋前後に區別せざるべからず思ふに架橋及び改築前に於ける成蹟は現時の狀態より著しき發達は到底望む可らざるも架橋及び改築後に於ては其狀態一變するものならん之が詳細なる增收率を示すは甚だ困難なるを以て之を避け單に直通客貨に依つて得る增收割合と韓國內の發展並に平南線開通に據る自然增收割合とを見込み頗る悲觀的に其增收割合を示せば既往成蹟に徵して年々自然的に得る增收割合を一割位とするを至當とせんか架橋及び改築後に至りては右自然的に得る增收割合に直通輸送に據り得る處の年々增收割合を先以て七分位として計上せば最も確實なる增加の割合に近からん因て將來九箇年間に於ける一日一哩收入を豫想すれば左の如し

年度	收入
四十二年度	一八、五八九
四十三年度	二〇、四四八
四十四年度	二二、四九二
四十五年度	二四、七四二
（以上は改築及架橋前）	
四十六年度	二八、九四八
四十七年度	三三、八六九
四十八年度	三九、六二七
四十九年度	四六、三六四
五十年度	五四、二四六

（未完）

●水銀鑛の經營

▲鑛脈　平南祥原黄海道遂安の兩道に亘る一帶の水銀鑛は上遠野栗氏の經營に係り今や漸く採堀の緒に就き來れるが鑛脈は同梧梨洞は十二尺遂安は十三尺以上にして頗る豐富なるものなり

▲經營の困難　精煉場は已に建築を竣へ目下場內の設備中なるが本月中には之を終るべきも何分水銀鑛は日本にても四國に一ヶ所なるに止まる位なれば經營に關する調査頗る困難にして計畫一ヶ年後に漸く着手の運びに至れり

▲需要　以前にては單にアマルガム用にて貴金屬の溶解劑として使用さるゝに止まりしに爾來化學の進步に伴ひ諸種藥類として其需用は益々增加し來れり

▲經營方針　は成可經營地を本位として附近韓民の便宜を計り其感情を傷はざるべく注意せるが爲め韓民との間は極めて圓滑なるも何分物資乏しき僻地なれば萬事に困難を感じ居れりと

▲成績　を具体的に表はし得るは數月后ならんも鑛脈豐富にして韓國稀有の礦業なれば前途必らず順況に向ふべき見込なりと

●梅ヶ香丸定繫所變更

義勇艦隊梅ヶ香丸は過般急速力の試航を行ひたる結果六時廿五分間にて關釜間を航海することを確めたるも斯ては同船の下關入港時刻は毎航共夜に入り目下關釜連絡の碇繫所は夜中の碇繫出來ず碇繫所を門司港域內に轉ずるの已むなきに至り西部管理局より門司港務部に打合せ中なりと

●虎疫と各學校

虎疫は日を逐ふて猖獗を極めつゝあるを以て漢城府內各學校は大淸潔を行ひつゝあるが官立梅洞、齋洞、養洞の各普通學校には學徒の家庭並びに附近に罹病者あるに依り臨時休業することゝなり師範學校々外寄宿舍に於ても一名の患者を出したれば全學校徒の健康診斷を爲したり

俳句

●第六回月次集　すみれ會

▲雁　むら判

（結、馬子野島多逸山コ士天由利白進）

◎秀逸

雁なくや配所の志士を思ふ宵　荻水
なく雁に旅の子偲ぶ夜毎かな　秋花
山の端に楷梯のようぞ雁の棹　月哉
武藏野や草に落ち行く雁の棹　荻水
進軍の步兵に似たり雁のさを　玉糸
雁啼くや利鎌の樣な明けの月　月哉
遠征の夫れもふ夜やかりの聲　荻水
船は今遠江灘よかりわたる　天心
馬の脊に雁を見上ぐる翁かな　中庸
乳をさぐる子の手冷し雁の聲　淡水
病雁やあれ野さびしき雨の宵　松月

◎

子を捨し夢に泣く夜や渡る雁　不美女

中山大納言

第五十七席　桃川燕玉演

彦『成程さう言はれて見れば一理ある、交際とあらば一夜御同道致さう　○『どうも早速の御承知千萬忝けない、善は急げ、今晩早速出掛けやう　◎『支度は宜いか　▲『心得た』と打揃いて彼れ此れ七八人で室の津に參りました、大層繁昌致しまする兵庫屋と云ふ妓樓がある、暖簾名で兵庫太夫と云ふ是はどうも頗る美人、御職でございまするそこで直ちに兵庫太夫と云ふのを呼んで　○『時に、お前が出る客は高山彦九郎と云ふ、是はどうも恐しい固意地で、石部金吉金兜どうにもかうにも仕樣のない人物、漸々欺して引張つて來た、何とお前が手へ丸め込んで、此後繁々足を通やうに、骨を折つて見て貰ひたい、あの客がちよい／＼來るやうになりやア、吾々がお前へ御馳走もする御禮もする、どうだ花魁、一つあの人を夢中にさしては呉れまいか、兵庫太夫莞爾笑つて　兵『エーもうそんな事は雜作もございませぬ、委細承知致しました、必ずちよい／＼入らつしやるやうに致しませう　○『さうかい、それぢや何分どうか骨折を頼む」と一同の者はしてやつたりと座敷へ行て來て見ると、高山先生女の方なんぞは一向目にも留めませぬ、大盃を擧げて　彦『サアサア注げ／＼」ガブ／＼酒を飲んで、大きな聲で詩か何か吟じこんで、色氣もそつけもあつたものでない　彦『サア近藤、此處へ來て一杯やれ……どうだ杉原、前田オイ大久保、サア皆此處へ來て一杯やれと、例の大盃を擧げてガブリ／＼飲んで居る、する內にもう大概客數も退け、愈々床入りと云ふ事になる　○『サア先生、あなたも御疲みなさい　彦『アヽ左樣か、然らば酩酊致したに依つて各位の御意に從ふ」と案內に從つて兵庫太夫の部屋へ參りまして、醉つて居るからであると橫に寢ると、宜心地にグーウグッと一睡を催した、一睡り睡つてフト目を覺ましまするに側に誰も居りませぬ、獨りで寢て居たのだ枕元を見ますると盆の上に湯沸しがあつて水が入つて居る、幸ひとそれを引寄せましてゴツクリ／＼と飲んで　彦『アー旨かつた、甘露の味ひだ、何時だナ」と起上りまするど次の座敷でボク／＼ボク／＼と云ふ木魚の音がして、小い聲で南無阿彌陀佛々々々々々と念佛を唱へて居る初めて妓樓へ登つた高山先生でも不審に思つて　彦『どうも女郎屋などは陽氣な處、其處で木魚だの伏鉦の音なんど云ふものは餘り宜いもんぢやない、端唄都々逸の換りに念佛と來た日には客が歸つてしまふ、ハテナ何だ、念佛をする、合點がいかない」とそつと覗いて見ると、御方の兵庫太夫が机の上に小い位牌を置いて、香を焚きボク／＼ボク／＼ボク／＼ボク／＼木魚を叩いて、南無阿彌陀佛々々々々々と淚を流して念佛を唱へて居る　彦『不思議な奴があつたものだ、飛んでもない時分に念佛なんぞ唱へて……コレ何を致して居る、最前から貴樣は木魚を鳴らし念佛を唱へてどうした　兵『オヤ旦那樣御目覺めでございますか、あなた御覽でございましたか、面目次第もござんせぬ、飛んだ所を旦那樣にお見せ申して申譯もござんせぬ、どうぞ御勘辨なすつて御他言のございませぬやうどうぞ願ひ度う存じます　彦『イヤ他言は致さぬがどうした夜半に念佛などを唱へ、淚を流して回向を致す、何か是には仔細のある事だらう、苦しからずは話をして聽かせろ　兵『ハイ、旦那樣は御武家樣で入らつしやいまして、殊に物堅い氣の勝れて居らつしやる旦那樣と御見受け申しますから、左樣ならば御話を致しませう　彦『ウム………　兵『何を隱しませう私は九州の浪人の娘でございます　彦『ホヽウ九州……　兵『ハイ、父が仔細あつて人に討たれましたのでございまする　彦『ヤレ／＼可哀想に、貴樣の親父は何か人手に掛つて……　兵『ハイ、それが爲どうか父の仇討を致したい、無念を晴らしたいと種々辛苦を致しましたが、重なる不幸に[illegible]、斯樣な廓へ身を沈めましてございまする、何にせよ敵はなか／＼腕の出來まする奴、私の力一つでは迚も討つ事は出來ませぬから、そこで賴母敷い御人を見立て、助太刀をして貰ひまして父の無念を晴らしたいと明け暮れそればかり斷つて居りました、何と旦那樣、明日にも親の敵が知れましたなら、仇討時に助太刀をなされては下さるまいか、武士と見込んで御願ひ致しまする」と淚に咽び齒を噛んで兵庫太夫が話をした委細の話を聽くと元より義に勇む彦九郎、むく／＼と起上つて　彦『ヤレ可哀想だ、貴樣の親父は何か人手に掛つて非業の最期を遂げた、やれ／＼可哀想な、宜し／＼一河の流を渡り一樹の蔭に雨を休むも他生の緣と承る、斯樣な事を承つた上は、身共が助太刀をして、其仇が分りさへすれば何時でも討取つて、お前の親父の無念を晴らしてやる、心強く思はつしやるが宜い　兵『有難う存じます、何分どうか願ひまする、是と云ふのも草葉の蔭で二親が手引致し、あなたのやうな豪傑を招き寄せたのでございます、誠に有難い、南無阿彌陀佛々々々々々々」ボク／＼／＼木魚を叩くから、　彦『いゝ／＼木魚は叩かんでも宜い、確と助太刀致してやるから　兵『有難う存じます、どうぞ御願ひ致しまする」とさア兵庫太夫すつかり口車に乘せてしまつた。



京城新報

拓殖務省再興說

東電は報じて曰く、樺太臺灣滿韓の殖民地が長官の意見により思ひ〳〵の方針を取り政府の監督統一上亂脈を極め居るを以て遺憾とし近來法制局內に於ては拓殖務省再興の議起り賛成者も頗る多き模樣なれば或は事實として現れ來らむと、殖民地統一上の問題は疾くに起り來るべき筈なるに今頃に至りて漸く此聲を聞くは聊か遲蒔の憾なくんばあらず、余輩は帝國の殖民政策上殖民地の統一を計る必要を認むるを以て曩きに拓殖務省再興の議を述る所ありき、當時に於ては何等の反響もなかりしが、歲月は人をして智ならしむるものか、今や法制局內に此說起り來りて現實するに至るべしとは邦家の爲に喜ばざるを得ざる也。

現在に於ける殖民地の狀態は全く統一なるものなく、帝國の殖民政策には一定の方針あるや否を疑はざるを得ず、滿韓に移民を集中すべしと宣言せしも、今に於て何等施設の端緖だも見へず、而して臺灣樺太の如き純然たる領地の殖民方針さへに區々として定らず、現に樺太の如きを見よ、徒に漁業者をして漁場の占有に熱狂せしめ、當局者が其所置の不公平に亘れるとして怨嗟の聲は常に絕たず、而も着實なる移住者の如きは寥々として數るに足らず、要するに斯の如き狀態を現出するは長官の意見に依りて區々たる施設をなし、之を統一するの機關なく、從て一定の方針確立せざるが爲なりと云ふも敢て過言にあらず、臺灣の如きは領有以來十數年に亘るを以て稍々諸般の設備はなれるも、殖民に於ては尙は一定の方針立たず、土着的の移民に至りて是亦數るに足らざる也、帝國の最も急務として施設せざる可らざる殖民策の一定せざるは我國運の發展に就て少からざる支障ありと云はざる可らず。

翻て滿韓に於ける移民の狀態を見るに政府は殆ど知らざるもの〻如しとの觀なきにあらず、殊に韓國の如きは伊藤公の大なる勢力により保護政治に於ては稍見るべきの事蹟を擧げ得たるも移民に就ては何等の施設する所なし、東拓會社は之が機關として設けられたるものなるべしと雖も、同會社今日の現狀に於ては到底之に望を屬する能はざるの觀あり、保護政治は韓國の扶導開發に勗めて殆と他を顧るの遑なき狀態にありとすれば、移民の集中は如何にして實現せらるべきか、茲に於てか之を統一する拓殖務省の設置は將さに急務たるべき也。

余輩は拓殖務省を再興して之が長官には異の適材を撰拔して我殖民政策の大飛躍を見むことを切に希望す、英國に於てチヤンバーレン氏が拓相たりしときの如く、活氣ある殖民政策を實行するに至らむことを偏に渴望するもの也。

●一年度小作料徵收額

東京電報

▲滿鐵購地局設置

南滿鐵道株式會社は安奉鐵道用地買收の爲め購地局を新設したり其局員は淸國人と現在滿鐵社員より任命し局は奉天に置く（二十一日午前着）

▲日貨排斥と外務省

奉天吉林方面に於ける日貨排斥に對し我外務省は伊集院公使より北京政府に鎭撫を要求すべく訓電したり（同上）

▲獨逸北滿領事館

獨逸は今回北滿州に領事館を設置すべく運動中なるが英國も近々設置せんとしつゝありと（同上）

▲渡米團と大統領

渡米實業家の一行は十九日ミチアポリスに着し同地にて大統領に謁見したるが一行の爲に盛大なる歡迎會を催されたり（同上）

▲川畑祗候の重体

金鷄間祗候川田實文病氣重体に就き兩陛下より御見舞金百圓を御下賜相成りたり（同上）

▲張之洞輕快に赴く

一時重患なりし張之洞は近日輕快に赴けり（同上）

▲日糖整理と大藏省

大藏省は日糖整理案と利益豫算案に就き調査中なり其結果豫算案を正當と認め未納稅金を年賦償還と決するに至らば國稅年賦償還の法律案を議會に提出し其協贊を經ざるべからず（同上）

▲暹羅國王の誕辰日

本日暹羅國王御誕辰日なるを以て我　陛下より祝電を發せられたるに對し鄭重なる答電ありたり（二十一日發）

香港電報

▲安南附近の不穩

佛領安南ハノイを距る三十哩の地方に暴徒蜂起し佛國政府は三千の兵を派し鎭壓中なるが勢ひ猛烈にして侮り難し然れども佛國當局者は秘密に付し居れり（二十一日）

雜報

●三派提携と政界

三派の提携は一進、大韓、西北三會の主腦部が既往の主張感情等を一掃して一旗幟の下に合同するを意味するものにして而も韓國上下の之に對する意向を窺ふに頑固なる大官儒生の輩に至る迄皆熱心に之を贊し漢城政界は目下此噂を以て持きれるが如き寧ろ意外の感に堪ねざるものある位なるが是れ近來兩班以下一般韓民が政治上は素より經濟上非常の窮境に陷れる結果何等かの變動を期待せると排日の到底行はるべからずして今日の窮境は却て其結果に非るかを覺悟せるとより來れるものにして畢竟するに各派提携は一般の歡迎を受つゝあるが如し

●露國新聞の誤解事情

日淸協約中吉會鐵道に關し露國に不平の聲傳はりたるは同國新聞紙中同協約の性質並に締結の實狀を詳にせざるが爲めにして同國政府並に政府の意向を承くる新聞紙は何等反抗を示せるの事實なし又滙春方面露淸國境に沿ふ鐵道の敷設に關し露淸間に交涉行はるゝとの報道は前記事情に迂なる新聞紙の傳說に過ぎずして何等の事實なしと云ふ

十三石小豆二百七十三石斗量雜品二千三百

●五大江調査計畫

近時產業交通の發達と共に河川の利用益々頻繁となり水利の設備堤防の築造等に關し調査を要すること急なるも之等の計畫あるに際し單に部分的研究調査の結果を以て直ちに其可否を決するは決して適當の處置にあらず故に內部土木局にては五大江即ち大同鴨綠、豆滿、洛東、漢江(附臨津)の河川上の性質即ち流域、面積、洪水及平水位、流速、潮汐、干流の關係其他諸般の調査を本年度以降七ケ年間繼續事業として着手するの計畫を立て其豫算約百卅六万圓を計上したるが初年度には約二十五萬四千圓次年度十八萬四千圓其後は逐年次年度の經費と同額に依る筈なりといふ

●甲山銅鑛の採掘近狀

從來銅店(甲山)銅鑛は採掘及び製煉等韓人により經營され來りしが鑛業法により彼のコールブランが其採掘權を得るや韓人の採掘は之を禁止し且つ製煉も近々差し止めんとせしを製煉業者(四十三名)等は韓人の採掘禁止以前より貯藏せし鑛石の製煉をも差止むるは甚だ不法なりとて苦情を唱へ種々審議を凝し中には勞働者を煽動して暴擧に出でんとするものもありて紛擾を極めしがコールブランも稍々悟る所ありしものゝ如く右は十一月盡日までに製煉せしむる事とし一段落を告げ同鑛現下の狀況は銅店を中心として六ケ所は既に鑛脈に達し少量の鑛石を採掘し目下使用の人夫は八十五名にして從來韓人の經營中使用せられし者多く銅店有志者の斡旋により勞働組合を組織し概して靜肅なりと云ふ

●來年度土木事業方針

來年度に於ける土木事業の計畫を聞くに本年度に於ては全道を通じ三百萬圓、京城府內治道費として百萬圓を要求したるも財政の都合に依り二百五十萬圓の支出に留まりたれば斯の十三線を起工したるが同線は來年度に於て全部竣成すべき豫定なれば來年度は本年度以上の治道費を要求し以て交通の完備を期すると同時に一方鄉道の如きも地方費殊に夫役を以て相當の改築を加ふべき方針なりと

●二年度の驛屯土收入

本年五月末現計昨年度驛屯土の調定額は八十七萬八千二百五十三圓收入六十九萬九千三百卅六圓收入未濟十七萬八千七百八十四圓なるが歲入豫算額七十五万圓に對し調定額は一割七分の增加を示す收入額は六歩强の減なりと

●警察部長會議經過

廿一日警察部長會議は典當舖規則、遺失物取扱規則等に付各意見を諮問せり

●大韓協會と警察部長

大韓協會は會長金嘉鎭氏の名を以て在京中の各警察部長へ左の意味の書面を送れり

我國民は久しく世界の文明に接觸せずして之が爲めに日本帝國の誠意を覺知する能はざるを以て本會は曩に各地方に支會を設け指導啓發に努めつゝありしに無智の地方民は却つて本會を排日派なり暴徒の同類なりと擯斥し妨害頻出の情報に接す是れ本會の遺憾とする所なれば歸任の上は本會の主義方針を部下へ訓示せられたく云々

右の書面に大韓協會の將來と題する金氏の論文を添付して送附せりと

●度量衡法の規則發布

既報の如く韓政府は法律第二十六號を以て改正度量衡法及施行規則を發布したり其制度は度、量、衡とも全部日本に同じ

●稅關官制中の改正

昨日勅令を以て稅關官制中改正を行ひ定員を主事七十九人と八十一人に監視官補十人を十二人に百三人を百九人に增加したりと

●宮內府の出入者警戒

京城內外にては昨今著しく虎列剌病猖獗を極むるを以て宮內府にては當分の內有病地より來るものに對し出入を禁じ同時に內外人の謁見を中止するとの事也

●統監府の臨時休務

虎列拉病毒は愈々猖獗を極め遂に統監府內に浸入し今朝同府外事課雇一名執務中嘔吐を催ふし診斷の結果疑もなき眞正虎列拉と確定せる爲め同府は非常の大恐慌を來たし府內一般の消毒に就き一方ならぬ混雜を極めたり之が爲めに本日は俄かに臨時休務を達したり

●參與官會議と防疫法

二十一日統監邸に開かれし定例參與官會議にては主として防疫の方法に就き議する所ありたるが其結果完全なる防疫方法を施すべき方針にて漢城衞生會にては同日午後二時より內部に於て會議を開き其方法に就き協議する所ありたり

●曾禰統監の招宴中止

虎列拉病の猖獗は愈々猛烈にして其病勢頗ぶる危險なるのみならず一昨日來統監府員中にも一二名の患者を出したる程なれば統監は此際總て宴會を中止し來る二十三日の佛白兩總領事の送別宴も見合はす由

●各小學校の休校決定

京城民團立第一第二小學校同分敎場及附屬幼稚園等は惡疫流行の際なるを以て本日より向ふ一週間休校することゝなれり

●前武官尹致晟の渡日

元侍從武官兼備騎兵副領(中佐)尹致晟は兩三日前日本へ赴きたるが其渡日の要件に就ては區々の噂さあり一說には彼は久しく寺內陸相の知遇を受け居るものなるを以て同大臣によりて文官たらんと運動せんが爲なりと云ひ一說には彼が親類なる尹致昊の命に依り米國宣師敎某を伴ひ渡事か計畫しつゝありと云ひ何れを眞と判斷し能はざるも彼が從來の行動により推すも今度の渡日は頗る注目すべきものたり（日韓通信）

日本觀光團員の韓麒洙は本月一日より十日[illegible]與へたるが何聽衆中日本の經濟界研究を以

●京義線列車時刻變更

統監府鐵道廳にては本月廿六日より當分の內平壤以北各列車の時刻を變更する由右は過般水害の爲線路及橋梁等破損に付修繕工事に伴ひ列車を徐行運轉せしむる必要に依るものにして北行は平壤初發の八時十五分新義州行列車を八時發とし新義州四時三十七分着に南大門發午前九時十分の直通列車は平壤發を一分繰下げ新義州着を午後十一時二十五分即ち現行より廿五分延着に又南行は新義州初發直通列車の同驛發を繰上げ午前八時五分に平壤着を午後二時四十一分に、新義州發午後一時五十五分平壤行列車は途中驛より順次繰下げ平壤着午後九時五十九分を十時三十四分に改むる由

●咸北不作と民情囂々

咸鏡北道富寧郡に於ける農作物の虫害及び水害は他郡に比し頗る甚だしきものあり殊に同郡は平年と雖も茂山郡及び間島方面より穀物の供給を受けつゝあるに同地方の不作の爲め前月末迄は一斗葉錢一兩八錢なりしもの數月前より二兩五錢に暴騰し尙求め難き有樣なるに奸商は呼價を二にして賣澁りの姿なれば目下民心恟々不穩の情ありと

●平安北道の大雷雨害

平安北道義州玉尙面地方に過般大雷雨ありて山岳崩壞し爲め壓死者男三、女一を出し其他の被害頗る多く又厚昌郡に降雹あり大豆、小豆、玉蜀黍は過半受害せりといふ

●一銀貨幣發行高週報

九月十二日より同月十八日に至る貨幣發行內譯左の如し

項目	金額
一 第一銀行券總發行平均高	一〇、九二三、一〇〇
內 正貨準備發行額	三、七八四、三〇〇
保證準備發行額	七、一三八、八〇〇
二 銀行券市場平均手許有高	七七三、七一五
三 平均流通高	一〇、一四九、三八五
四 硬貨額（九月十八日現在）	四、六四四、一五〇
內 金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇、〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	七一五、〇〇〇
同 廿錢	八三九、五〇〇
同 十錢	六三七、五〇〇
白銅貨五錢	七七三、五〇〇
青銅貨一錢	一六三、四二〇
同 五厘	六五、二三〇

●郵便事業の擴張

▲郵便發着數　從來韓國內各地の郵便發着回數にして一箇月十回乃至十五回內外の地方少なからざりしも漸次日人の發展に便ならしめんが爲め通信管理局は諸種の整理を遂げ經費を節し其の得たる費額を悉く事業擴張の資に充て即各地方局所の聯絡は其大部分每日一回以上たらしめ其他如何なる寒村僻地と雖も苟も通信機關の在る地に對しては少くとも隔日一回以上の聯絡を有せしむることゝなし客月及び本月一日より之れを實施せり

▲小包の速達　前項の外尙忠淸全羅各道郵便及び小包の速達は詳細左の如し

（イ）忠淸南北道及び全羅北道と日本內地間の小包は從來總て群山に集中し同地にて關稅の手續を盡し群山日本間船便に依る爲め送達所要日數一定せざるのみならず普通郵便は關釜間聯絡船及び京釜鐵道に依り太田を經て每日一定時に發着するを以て小包の案內狀たる普通郵便と小包其の者との送達に著大の遲速の差あるは最も不便とする所にして這は畢竟多量の小包を陸上送達するの容易ならざる經費を要し事業創設の際經費多端の止むを得ざるに出たる結果に外ならざりしも通信管理局は此亦多大の經費を投じて該地方の小包亦全然通常郵便と同時に同一經路に依り送達することゝ爲したれば小包は唯々以上の不便を芟除し得たるのみならず三日乃至十日間速達を見に至れり

（ロ）全羅南道光州及び同地を中心とせる各地方と京釜線方面及び本邦との間に往復する郵便物は從來總て一旦榮山浦、木浦間、木浦釜山、仁川及內地間船便に依る爲め發着時日の一定せざるのみならず新聞官報等の如きは船便の都合次第にて一便に數日分併せて到着する等尠少ならざる不便を感じつゝありたるに今回大田江景全州南原を經て光州京釜鐵道との陸上聯絡を計り爰に全く每日確實一定の日時に郵便物の發着を見るを得るに至らしめたりと（以下次號）

●三派合同懇親會開催

一進、大韓、西北三派の提携は內田氏來京後關係者一同と夫々打合せを了したるを以て提携の議愈纏まり廿日確定するに至りたるが故に來る廿三日日本人倶樂部に於て三派懇親の內宴を開き廿六日頃公開の大演說會を催し提携に關する理由、政見等を發表すべしと

●憲兵隊の淸潔法勵行

憲兵隊にてはコレラ豫防淸潔施行を勵行し廿一日は附屬各廳舍及官舍の檢査をなしたるが尙ほ近々衞生幻燈會を催ほし隊員の衞生思想を皷舞せしむべしといふ

●仁川經濟研究會成立

仁川に於ける築港問題及び其他の經濟問題に就き討議するを以て目的とする仁川經濟研究會は曩に有志者に依りて組織せられ既に會則等の制定も終決したれば今月末日迄に盛大なる發會式を擧行せらるべしと云ふ

●關野博士巡視

入京中の關野博士は本日中村製鑛所官荻田統監府書記官等と同行舊度支部に藏めある寶物を觀覽したりと

●法令審査會

廿一日內部に於て法令審査會を開き水道規則を審査したり

●富樫課長の兼務

仁川民團立病院の副院長後任者は目下人選中の由なるが生駒幹事の後任は現在の仁川民團富樫庶務課長をして兼掌せしむべしと云ふ

裁判所は四十箇所に決定し廳舍は十月中に

●新韓民報押收　浦港に於て發行する新

●水雷艇出港

沿岸警備の任にある水雷艇七十二號は昨日仁川出港鎭南浦へ向へり

●孫澤孃乘船

宮內顧問たりしソンタク孃は一昨廿日仁川港を出帆したる獨逸汽船青島號に便乘して歸國の途に就きたり

●興業停止

本日三浦理事官は虎疫豫防の爲め當分間京城及龍山間の諸興行に對し停止の命を發せり

●岡村氏招宴

岡村正雄氏は今回鐵道驛事務官補に任せられ新義州驛長を命ぜられたるに付廿一日午後六時京城ホテルに於て故舊知人を招き披露宴を開きたり

公人私人

▲岡田治衛武　二十日天眞樓投宿
▲平田鐵太郎（憲兵中尉）　二十日浦尾投宿
▲石井權藏（憲兵少佐）　同上
▲森常吉（郡山商業會議所會頭）　歸任
▲中田孝彥（木浦商業會議所書記長）　歸任

近事片々

▲待合　濱の家の密議なる東電來る杉山茂丸君主人にて韓國問題に關する密議なりと
▲其顔　觸は伊藤公伊東子後藤男近藤廉平加藤正義の面々なりとハテ何事の疑議にや
▲近藤　加藤の二氏あるを以て直に航海に關する事と早呑込する勿れ二氏或は金主乎
▲後藤　男伊東子には能く此二人相談相手となるホラ丸君の凄き計策は那邊にあるか
▲杉山　君の使者とも見るべき內田君今や漢城にあり此際濱の家待合は一寸乙に見ゆ
▲伊藤　公伊東子後藤男を會合せしめて茲に密議せしむるホラ丸君の手腕も亦凄い哉
▲併し　是が果して事實であるや否は未だ信じ難し東電には時々擔れる事なきに非ず
▲祖國　米作增收六千萬石は相違にして實は五千四百余萬石の增收と何れにても豐作
▲五千　四百萬石增收とすれば平作よりも一億圓の增收也と一億圓天から降り來る者
▲東洋　古代の建築史學に造詣深き關野博士度支部の囑托を受けて調査に來韓せらる
▲同博　士の調査は古社寺保存及美術歷史に關する精細なる研究をせらるべしとの事
▲史學　科出身の谷井栗山の兩學士も隨行し來れりと調査の上は歷史上一生面開かむ
▲孫澤　老孃去る十九日愈々歸國の途に就く廿五年間の漢城生活とは隨分辛抱した者
▲廿五　年の生活は第二の故鄉とも健氣なる老孃も流石名殘惜まれて江淚潛々の中に發車
▲谷子　爵曰く苦境に居るは獨り官吏のみならず官吏增俸は不可也と矢張り谷子式也
▲官吏　の增俸は會社重役の勝手に月給賞與を增加するも等し厚顏極まると痛罵せりと
▲貿易　事務官を各國に配置する爲十萬圓を計上せりと十萬金は惜まねど効能は怪し
▲駐在　領事に貿易眼あるものを撰拔すれば貿易事務官必要なし各國領事の腕前見よ
▲領事　は居留地の殿樣と心得居るの惡習を洗滌すべし商賣の心得ある者を拔擢せよ
▲八十　五歲の高齡十六貫餘の米俵を易々と每日運搬する稀代の老女遠州秋葉に有と

제220호 1909. 9. 22.

八千六百〇〇八石米千四百九十石麥千五百六十三石粟二千三百十九石大豆二千六百七七十五貫…九百〇一貫魚類二…貫なりと

●觀光團員の地方遊說

進歩を稱揚し且日本皇室及伊藤大師の韓太子補育の狀を說き聽衆一同に多大の感動を

●區裁判所開廳の決定

來る十一月司法權實施と共に開廳すべき區の一大演說會を開催する豫定なりと

廿五日獨立門の國民演說塵に於て兩會聯合

●南韓の討賊彙報

▲勦派意外に困難なり

南韓地方に於ける暴徒の討伐に從事し居れる渡邊臨時派遣隊の其の後の狀況を聞くに去月二十五日を以て一切の▲準備行動を開始し九月一日全羅北道の南原縣仁より南原に亘る線に於て同部隊の大部分を散開し同少將自ら之れを率ゐて愈大討伐に着手し憲兵隊警察隊とを合せて盛んに檢擧を行ひつゝ前進したり本日頃は已に全羅南道光州邊まで進みたるならんと云ふ而して其成績に就ては未だ一般に亘れる報告なく各部隊より漸く十日頃迄の分丈け報告到達し居るのみなるが着手後▲大集團には遭遇せず僅かに二十五人乃至三十人位の集團を認むるのみなれば隨て衝突と見るべきものは一回も無かりし由其檢擧人員は日を追ふて漸次增加し來り最近の報告には一日三十人乃至五十人に達したるも實際に暴徒と認むべきものは概算八十人以上に過ぎず中には風を望んで投降し來れるもの三四名ありたるが概して其經過は良好なり然れども我軍には嘗て些の損害なく又一名の死傷者をも出さゞるが▲其の苦辛の程度は實に意想外に在り而して今月末より來月に至る第三期に於て暴徒の巢窟へ近迫したらんには更に一層見るべきの成績あらん又本隊と包圍の目的を以て木浦附近に上陸せし一部隊は上陸後依然其部署を動かさず本隊と相應じて包圍の目的を計畫しつゝありと因みに過般馬山木浦附近に於ける我が二等卒の死者は郵便護衛隊にて全く本隊と別種のものなる由

●京城の虎疫續報

▲新患者續々發生す

▲若草町一丁目六十五番戸平民西本利平（十四）は廿日檢病的戸口調査の際診察せしに疑似虎列拉と確定嚴重消毒の上附近一帶交通遮斷を行ふ▲西部積善坊工後洞十二統九戸に人夫羅聖完長男丁學（一）及び同居鄭士文（五一）は二十日午前九時三十分眞正虎疫に罹り隔離中▲西部明治町派出所附近に行倒れたる韓人を神吉警察醫檢診の結果コレラと確定青坡病院に收容す▲新町二十五番戸の十二玉井謙太郎娘よしゑ（一〇）及同番戸山田高芳（十七）は松原醫師の檢診に依り眞正虎疫と確定し南部署に屆出づ▲長谷川町一丁目五十七番戸安立和一郎（二九）は森檢疫醫診斷の結果眞正虎列拉と確定光熙門外傳染病院に護送す▲大和町二丁目富田初太郎方隣りの韓人は二十日正午コレラにて死亡▲竹園町五番戸池田榮吉妻けい（三八）は二十日コレラに罹り小川病院に收容す▲南部竹洞八十二統一戸朴健培妻沈姓女（四〇）は二十日虎疫にて死亡す▲大和町一丁目二百六十番戸敎師森爲殿妻しげ（三三）は豫て姙娠五ケ月なりしに二十日四五回の吐瀉ありたれば檢診の結果コレラと確定す

●仁川の虎疫減退

▲消毒淸潔法勵行の效果

仁川の韓人部落に於て一時猖獗を極めたる虎疫は仁川署員其他の係員が極力防遏に努めたる功果空しからずして漸次終熄せんとするの模樣あり現に一昨日の如き唯だ平洞に一名の新患者を發生したるに止り尙ほ從來一日に十五六名宛の新患者發生すると共に概ね五六時間にて死亡し居たるも昨今に至りては斯かる短時間の內に死亡するものなく病勢漸く衰へつゝありと云ふ尙ほ市中に於ける消毒的大淸潔法は目下執行されて居るが韓人部落に於ても保警官其他全力を傾注して大々的淸潔法を勵行しつゝある由にてさしも猖獗を極めし水踰洞の如き今日に於ては一名の虎疫患者をも發見せざるに至り漸く曚昧なる韓人にも淸潔法の功力を諒知したるものにや昨今は各洞競て其の執行を熱望し居れりと

●龍山方面の虎疫

▲一日の發病者十八名

龍山の虎疫は昨今比較的發病者尠なかりし一昨廿日に至り俄然其の暴威を逞ふし來り一昨廿日の如きは發病者數十八名の多きに上れり猶ほ益々增加の傾きありて住民をして寒心に堪へざらしむ今其の患者の氏名を列記せん

東幕上契二の二李周京四男　李神工（三二）
同　中契十九の九李德明の妻　朴氏（二九）
同　上契二一の一　文致三（三八）
同　上二〇の八　梁柱文（四一）
同　中契四の七　鎭順國（六二）
中幕中契二四の九　李奎憲の長女金（十四）
東幕上契一の一　貴榮玉長女ウラン（十三）
土亭里三の八　李任根の妻劉許（四七）
玄石里統戸不明　朴石有（六二）
土亭里八の二　盛許九の妻　吳氏（十七）
同　上　長男　圭弘（二六）
同　上　長女　憲男（十四）
同　上　次男　完得（六）
東幕上契一八の八　李春鳳（三二）
玄石里統戸不明　金天玉（二九）
東幕上契二一の一文致三長男　七星（七）
屯芳元興洞二統十戸　金千宇（六）
榮町百七十三番戸　丸山逸治（二七）

等にして內朴、桂文、順國、千宇、丸山逸治の六名は同日死亡したりと云ふ記者は當局者に向つて嚴重に隔離と消毒とを勵行せられんことを希望すると同時に在住民自身に於ても更に一層の注意を以て攝生を重んぜらるべきを勸告す

●觀光團員虎疫に罹る

▲三日月旅館の交通遮斷

愛媛觀光團員として入京三日月旅館に滯在中なりし大野銀行頭取大野熊太郎氏は廿日夜虎疫に罹り即刻避病院に收容せられたるが間もなく死去せられたり悼はしき限りなり是れに就き同旅館は同時に交通を遮斷せられ爲めに訪問せる大久保辯護士其他數名の士も止むなく同旅館に隔離中なりと

●石工同業者を脅喝す

▲配下を誘拐せられしとて

仁川稅關第二期埋立工事に從事せる岡山縣生れの石工猪又事松島政五郎（三五）と云ふは自分の配下に屬する石工七名が竊に安奉線工事に赴きたるを京町二丁目居住の同業者瀨戶鎌一と云ふが周旋したるものと邪推し毎日の如く乾分三四人を連れて同人方に至り難癖を附けて詫金を出さしめんと脅迫するものから瀨戶は五月蠅加減に堪へずして金二十圓を提供し穩便に濟ますべきを嘆願すれど此方の政五郎は先方の幾分貯金あるを知りてか知らずてか二十圓位の端金にては承知ならずと突き戾し尙ほも執拗く去る十八日の夜乾分なる香川生れの青木兼太郎（三五）廣島生れの高原梅太郎（四十）同猪又金十郎（三二）の三名を瀨戶方に遣はして談判中折

▲虎疫豫防係員に注意▼

一昨二十日南部警察署長桐原警視は虎疫豫防從事員に對し檢病的戸口調査淸潔法執行の爲め左の要件を勵行せしむ

一、不熟の果物は一切各巡査の面前に於て廢棄せしむる事
但一部腐敗のものも亦同樣處置す可し
二、覆蓋の設なき器具に飮食物を容れ店頭に陳列販賣するを嚴禁す
三、蠅群は總ての方法を以て撲滅せしむる樣說示すべし
四、井戶の周圍不潔の個處は嚴重浚渫及修理を命じ使用不適の水と認定したる時は井戶の使用を禁じて代用良水の供給は衞生組長を經て申出べし
五、生水の飮用は嚴禁す雜用と雖ども煮沸水にあらざれば使用すべからず
六、不消化物の食物は勿論暴飮暴食等はなさゞる樣加諭すべし

▲桐原南部署長の訓示▼

柄通り合せたる仁川署刑事に聞咎められ一先づ本署に引致して關係者一同を取調べたる處全く前記七名の石工は單獨行動に出でたるものにして瀨戶の關知せざる處と判明せるより前記猪又其他に對しては嚴しく將來を戒め始末書を取りて一時歸宅せしむ

●自轉車泥棒捕る

原籍熊本縣下益城郡中山村當時京城明治町一丁目下川旅館止宿平民調劑生宮本信次（三四）は去る十八日午後中署寺洞自轉車貸業金正元方にて鐘路通り二丁目村上義四郎と詐稱し一時間貸料金廿五錢の約定にて自轉車一輛（價格四十五圓）を借受け其儘大和町一丁目古物商岸川文八方に至り大和町三丁目廿五番地大韓醫院醫員服部某方居留村上義雄と僞名して該自轉車の賣却方を依賴し金五圓を受取り越ねて二十日午後九時前記岸川方に殘額受取の爲め赴く途中本町通りに於て豫て內偵中の南部署中井刑事に逮捕せられ何餘罪ある見込にて目下嚴重取調中なり

●韓人の摸り合ひ

京城南署冷井洞統戸不詳鄭不詳沒水夫李德必（三）南署鍾洞統戸不詳鄭明根（三四）の兩人は一昨日午後二時頃酩酊の結果摸り合ひをれつ初めたるが美洞派出所巡査双方を說諭して事濟み

●琴琶演奏會開催

仁川に於て今回琴琶會を組織し毎月二回旅宮町一六鏡寶所樓上にて演奏會を開催する由

▲他人の話▼

▲敦化門の山奥に潜む山伏歸來例の怪しい法螺貝を吹き立て東京邊では韓國次官連はヨボ次官と輕視して其名も知らぬが乃公の名を知らぬものは無いと▲聽く者啞然として開いた口が塞がらなかつたが扨て其里を知らぬ人は眞實にするかも知れぬ▲今日此頃の秋風も山伏さんの身には泌まないと見へ不相變太平を嘯く抔矢張ヨボ式でお目出度く出來て居る▲日韓瓦斯では此間內部の不整理を素つ破拔かれて株劵が五圓も下落した▲是に驚き重役共は眼を白黑にして何でも社內の者が暴露したのに違いないと上へ下への大騷ぎを演らかした▲殊に滑稽なのは社內の幹事ともいふべき人が自分で喋舌つて置きながら空トボケて暴露者を誰彼と物色して居つたのは餘程面白かつたと日本電通は面白がつて居る

●龍山兄弟商會

元日韓貿易會社員たりし小泉菊太郎、佐藤豐の二氏は龍山山下町一丁目に標題の如き商會を創始し薄利多賣主義にて日用雜貨食料品の販賣に從事すと

●奇効ある一點水

大阪市南區新瓦屋町四十三番地に住する浮世繪家久武忠雄は去る明治三十七年三月一日の朝新聞を讀み居たる際ふと眼球に痛みを覺えたりしが僅かに三十分程にて全く失明したるに驚き同地北濱醫學士山縣眼科院及同心齋橋南詰西入岩崎眼科院、緒方病院等の治療を受けしに到底全快の見込なしとのことに泣く〳〵畫筆を擲つて大阪高等鍼灸學校に入り斯學を修め早や卒業に近づきし時東京タイガー商會にて製劑する一點水なる賣藥の目藥を勸むる人あり之を用ひたるに不思議にも日一日と奇効を奏し昔に變らぬ晴眼となりしより又も鍼灸術を捨てゝ舊の畫家に歸りたる不思議な事實を聽き橫濱病院長須藤氏は之を眼科部に試用せしに意外な好成績を得又同淺水眼療院にては之を試驗して手術を要せざる眼疾には之れ以上の有効劑は無いとの證書を與へられたるに其本舗は之れを名譽として爾後貧民病者に限り無代にて施藥し居ると同商會より通信

吉凶鏡

本町五丁目　三二館判斷

●九月廿二日舊八月八日三碧乙酉たつ△一白●計畫豫備下調べ等は吉水厄水損毀るべし△二黑●他と是非正邪を論爭す利權を伸張すべし養子の事談は吉△三碧●不利の日なり謹愼を要す鼠賊詐欺防ぐべし△四綠●改易の凶其他平穩の日なり閨門の禮を守るべし△五黃●短慮より多年の効を沒するあり從順謹愼たるべし△六白●長上の者より威壓叱責にあふあり帳簿證劵印章の事細密の用意を要す△七赤●非運たり創始改易凶保證受印謝すべし△八白●從者家族家畜の身上に留意怠るなかれ△九紫●快欣の日なり万づ進みなすこと吉集團婚姻事談最も吉

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶

▲淫賣と云ふものは絕對に禁止することが出來ぬとすれば成る可く取締りに便ずる爲め或る區劃を限つて其所に纏めるのは怜悧の所業だ南大門外へ十軒計り建築して居るのには贊成だ（への字）▲曰く集を一つ▲曾禰子曰く餘り寒くならない間に歸つたら何うか▲屆●●●夫人曰く少し快くなればモウ其樣我儘を▲れ八重さん曰くオホヽヽ、腹の中で曰く歸つて下さらないと他が馬鹿にして困ッちやうワ（ほへさ）▲永樂亭の傍の左官職さんの宅に「にセ石灰あります」と貼紙がしてあるが何んの事やら判らない（通行人）▲コレラ病の流行にも困つて終う迂濶には往來も歩行ない此の際南山音樂堂なぞで演奏は考へ●●●もんだ、更に彼岸會に入つたがおハギ●●やあんころの贈答等は省略したが宜しからう（天來生）▲一昨廿日の夜であつたが本町の或る橫町を通ると三十三四の小粹な女が立つて居る誰れか待ち合はせて居るのであらうと思つたまゝ其の前を通り拔け樣とすると「一寸貴子」と云ふ「何か御用で」と立ち止まると「難澁して居るものですが御救ひを」との事だ段々聞いて見ると亭主が患つて居て生計が立たないと云ふ無論誤ながら御承知ありたい、聞かねば兎に角聞いた以上はと一圓を握らせた、と恥しげに漏然して「れ宿迄れ件を致しませう」と來たには驚いて逃げ出した金が惡んで威嚇かされたのは初めてだ（腰辨）▲上手く仰云ることだ（小僧）▲昌德宮內にさへ虎疫が發生する位ひだもの永樂町や南山町邊に侵入するのは當然だ（一市民）▲と澄まして居ては困ります日本人たるものが韓人同樣に自ら輕んじて居ては不可ません昌德宮に發生したのは外部で感染して居る一韓日傭人が發病したに止まります責任は誰れにあるやら（給仕）

廣告

各種洗濯石鹸專門製造販賣

用途

陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目

（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇たし　中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし　氏名在社（四三五）

●雇入　鳥類剝製に經驗ある者至急雇入れたし　氏名在社（四三八）

●年廿二生來繪畫に多大の興味を有するもの寫眞館に雇れ技術を見習ひたし確實保證人あり　氏名在社（四四一）

●雇入　建具並に表具職人貳名至急入用　壽町一　桂萬吉

●雇入　小間物行商人用希望の人は左記の所に御來談あれ　壽町二丁目　國分旅館

●募集　敏腕なる外交員至急雇入たし　京城旭町三　京城廣告社

●小僧入用　京城大漢門前　遠藤洋服店

物件部

●龍山電話格安に至急讓渡したし　氏名在社（四三三）

●龍山未設電話賣却又は貸渡したし　氏名在社（四三四）

●電話至急買受たし　氏名在社（四四三）

●若草町中央に地反二百坪餘一坪に付二圓内外を以て賣却す希望者來談あれ　永樂座横　本田

●本町赤門を起點として五間を距らぬ上等陶九建家土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ　永樂座横　本田

廣告

入〇〇〇院〇〇〇〇〇隨〇〇〇意

南山町二丁目

松岡醫院

電話六七五番

各〇〇〇科〇〇〇〇〇診〇〇〇療



入院隨意

諸般の設備を改善して一般診療に從事す

內科小兒科部長院長　安藤一郎

皮膚病外科部長　醫學士　鶴田善重

花柳病

產科婦人科部長　醫學士　山添喜代藏

耳鼻咽喉科部長　石田誠

診療時間每日自八時至後二時（但日曜大祭日休業）

京城明治町一丁目

電話十二番

漢城病院

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

（電話長一〇七番）

●祝開業三週年●

江湖御客樣方の御引立に預り日ましに繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の内左記之通り特別大勉强仕候間賑々敷御光來の程伏して奉待上候あらく可祝

會席二膳附　並等壹圓　上等壹圓半　特等貳圓

但御酒は上記代金の內にて召上り次第

尚々十人以上の御宴會は御人數に應じ花代なしにて相應の藝妓をして御座敷を斡旋致させ申候

京城大和町三丁目

電話七三五

梅の家

荒物世帶道具一切

大坂合製白絞油和洋蠟燭

和傘岐阜提灯魚釣道具

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替若くは代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第御送呈申上候

卸小賣

荒物世帶道具

各國諸油米穀

銘酒澤龜サッポロアサヒ麥酒

並に買次業

京城本町六丁目

㊥西崎嘉七本店

電話長二一〇　電略（ニカ又はニ）

振替貯金口座東京（九四一七番）



京城光化門通

淺田洋服店

店主　大島專藏

（電話四百十三番）

胃腸消化新劑

澱粉消化　チヤスタリン

蛋白脂肪消化　チゲスチン

錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢

散劑一オンス入（一瓶）二圓二十錢

錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢

散錠一オンス入（一瓶）二圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候

各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元　京城光化門通　大島專藏



食道樂

さかね家

壽町二丁目　電話九四四

些も猥がましき分子を含まず

調理と設備の氣の利いた所を命として賣出申候

高尙にして而かも華美に流れず

紳士淑女を俟つに恥しからぬも極めて質素を旨とし萬事御手輕を專一といたし候

尤も趣味深き娛樂場として

御心置なく一日の御清遊に適すべく風呂及び娛樂器の備をいたし候

明治廿年七月創立

資本金一千萬圓

東京火災運送海上保險株式會社

●京城代辦店　本町四山口與服店　電話九番

●事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

營業科目

活版、石版、銅版

各種印刷

帳簿裝釘、書籍

製本及ビ印刷

諸材料販賣

日韓印刷株式會社

遍ク諸材料ノ精選ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三三三番

出張所　東京麴町區麴町八丁目十九番地　電話番町二一九〇番

特約販賣自製

漬物　味噌　醬油　製造元

京城本町五丁目

水上商店

和洋酒、㊂精酢、穀物類、銘茶、鑵詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣店御望に依り商品切手調進仕候

（電話二五一番）

綿わた綿ワタ

たやすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類

卸問屋

京城明治町一丁目四ッ角

唐川商店

電話二六一番

開業廣告

秋冷相催候處益々御清榮奉欣賀候陳者從來種々御愛顧を蒙り難有御厚禮申上候豫々各位の御勸めもあり且つ自分も韓國商況狀態に付ては研究中の處漸く時季到來今般開業仕候次第に御座候然れども同業者多數有之事故弊店の前途は一に各位の御眷顧に據らざるべからず何卒倍舊の御引立あらむ事を只管奉願上候　敬具

中津原炭　大任炭　龍山代理店

福母炭、撫順炭特約販賣店

永同木炭特約販賣店

清酒清力特約販賣店

キリンビール特約販賣店

やま王足袋取次販賣店

高崎製金庫特約販賣店

陸軍諸官衙御用達

歐米雜貨

食料品和

洋酒煙草

Ⓡ

龍山新市街山下町一丁目

龍山兄弟商會

主

小泉菊太郎

佐藤豊

電話架設中（取次電話百四十八番）